

【天国への手紙 12月12日放送分】

ラジオネーム けんちゃん汁  
天国への手紙「祖父の遺品」

じーちゃんへ。

ばーちゃんが死んだあともう何年も空き家だったじーちゃんの家、  
いよいよ取り壊すことになりました。

僕も子供のころからの思い出がいっぱい詰まった家だけど、  
さすがにもう管理しきれなくなってきたので、  
父さんが75才になるのを機に決断しました。

裏に田んぼが広がり、雨の日は縁側に座ってカエルの大合唱を聞いた、  
あの頃のままの風景が残っていました。

それにしてもじーちゃんは物持ちが良かったんだねえ。

このあいだ、家の中を片付けに行ったら、外の物置や、和室の押し入れから、  
出てくる出てくる古いもの。まず物置から出てきたのは臼と杵。僕の記憶には、  
餅つき機を使った記憶しかないから、ずいぶん昔に使っていたんだらうね。

そして、バイク。初期の頃のスーパーカブ。サビだらけで使い物にならなかったけど、  
きちんと手入れしていたら、今の時代かなりのレア物だったよ。  
これも見たこと無かったなあ。

和室の押し入れから出てきて驚いたのは、陸軍の軍服。

徴兵されたけど戦地に行く前に戦争が終わった、とは聞いていたけど、  
軍服もそのまま取っておいたんだね。

でも、軍服を見たら、じーちゃんが何度も話してくれた、  
戦時中の、生活が厳しかったという話を思い出しました。

なにせじーちゃんの家は遠いから、ほとんどの遺品は持ってこれなかったんだけど、  
廊下にあった柱時計だけは、無理矢理車に積んで持ってきました。子供の頃、  
遊びに行くたびに振り子が右に左に行ったり来たりするのを眺めたこの柱時計だけは、  
何だか捨ててしまうのが惜しくて、何とかウチに設置しようと思います。

すっかり古くなって動かなくなっているけど、手入れして動くようになれば、  
じーちゃんの家に遊びに行った、

あの頃の夏休みにタイムスリップできるような気がして、今から楽しみです。

リクエスト曲…大きな古時計 平井堅